

改正特化則対応！2022年4月1日より

溶接ヒュームに対する マスクの選定方法が変わります。

2021年4月より、溶接ヒュームが『特定化学物質（第2類物質）』として規制されることになりました。
金属アーク溶接等作業を行う作業場では、新たなばく露防止措置が求められることとなります。

マスクに関する 新たな実施事項と流れ

今後は、金属アーク溶接等作業を継続して行う屋内作業場では、空気中の溶接ヒューム濃度の測定を行うことが必要となります。2022年4月からは測定結果に応じたマスクを使用することが義務付けられます。

※各措置に関する詳細については、必ず改正された関係法令等で内容をご確認ください。

実施事項	2021年 4月	2022年 4月	2023年 4月
個人サンプラーなどによる溶接ヒューム濃度測定	●	●	●
測定結果に基づく 溶接ヒューム濃度に応じたマスクの使用	●	●	●
面体形のマスク使用時 1年以内ごとに1回、フィットテストの実施			●

新たな選定方法で
マスクを選びましょう

新たなマスクの選定方法

- 溶接ヒュームの測定結果から**要求防護係数**を求める。
- 要求防護係数を上回る指定防護係数のマスクを選ぶ

$$\text{要求防護係数} = \frac{\text{溶接ヒューム測定値 (ヒューム中マンガンの濃度最大値)}}{0.05 \text{ (マンガンのばく露の基準値)}}$$

◆選定例 測定により得た溶接ヒューム中マンガンの濃度の最大値が0.45mg/m³の場合

$$\text{要求防護係数} = \frac{0.45}{0.05 \text{ (マンガンのばく露の基準値)}} = 9$$

要求防護係数は9となるため、指定防護係数が9を上回る防じんマスクや電動ファン付き呼吸用保護具などのマスクを選定

フィットテストの実施方法

2023年4月より、面体形のマスクを使用する際には、フィットテストにより**マスクが適切に装着できているかを確認**することが求められます。確認方法は、改正予定のJIS T 8150に定める方法またはこれと同等の方法により実施します。フィットテストは、年に1度行い、その記録を3年間保存することが義務付けられます。

興研では、義務化にむけてお客様がフィットテストを実施するためのサポートを準備しています。

新製品情報 電動ファン付き呼吸用保護具
サカサ式 BL-7005



溶接作業で多くの導入実績のある
BL-1005の上位機種が7月発売予定！

溶接作業で人気のミクロンフィルターを採用し、面との相性も良い新製品です。

PL2 A級 33

興研の製品ラインナップは裏面へ

興研の溶接ヒューム対策マスクラインナップ

要求防護係数

溶接ヒューム濃度
(マンガンとして)

1000 未満

マンガンとして
15mg/m³以上
50mg/m³未満

300 未満

マンガンとして
2.5mg/m³以上
15mg/m³未満

50 未満

マンガンとして
1.65mg/m³以上
2.5mg/m³未満

33 未満

マンガンとして
0.7mg/m³以上
1.65mg/m³未満

14 未満

マンガンとして
0.5mg/m³以上
0.7mg/m³未満

10 未満

マンガンとして
0.2mg/m³以上
0.5mg/m³未満

4 未満

マンガンとして
0.2mg/m³未満

選択可能な

電動ファン付き呼吸用保護具 (例)

視野が広い全面アイピース
スピーカー内蔵

PL3 S級 1000

サカサ式 BL-711H



大風量形コードレス
P A P R 軽量モデル
約260g

PL3 S級 300*

サカサ式 BL-321H



面体部が軽いバッテリー
セパレートタイプ
面体部 約220g

PL3 S級 300*

サカサ式 BL-100H



溶接作業に最適な
新モデル

PL2 A級 33

サカサ式 BL-7005



溶接面との相性がよく
下方視野も抜群

PL1 A級 14

サカサ式 BL-1005



フィルタを付け替えて
指定防護係数300の
BL-321Hへ

PL1 B級 14

サカサ式 BL-321S



溶接ヒューム濃度測定で
得られた結果に応じて
マスクを選びましょう!

「金属アーク溶接等作業を継続して行う屋内作業場に係る溶接ヒュームの濃度の測定の方法等」(令和2年7月31日厚生労働省告示第286号)で示される呼吸用保護具の指定防護係数を基に製品例を掲載

選択可能な防じんマスク (例)

安全性の高い
全面形面体

RL3 50

サカサ式 1521H



低濃度オゾン対応

RL2 14

サカサ式 1781DWC



溶接面との相性の
よいモデル

RL2 10

サカサ式 1005R



フィット性に優れた
FFリップ

DS2 10

サカサ式 ハイラック350



※ BL-321H、BL-100Hは弊社による模擬作業場所防護係数(SWPF)測定の結果、指定防護係数が300以上であることを証明します。

興研株式会社

安全衛生デバイス

本社 〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地
TEL.03(5276)1911(大代表) Fax.03(3261)0589
URL <http://www.koken-ltd.co.jp>

製品に関するお問い合わせは、本社または最寄りの営業所までお願いいたします。

営業所

北海道011(832)3911 熊谷048(524)2928 北陸076(298)1010 広島082(511)1281
仙台022(374)0420 東京03(5276)8063 大阪06(6326)9223 四国0897(34)8927
新潟025(255)0121 横浜045(242)6566 神戸078(511)0414 九州0942(38)1651
千葉043(293)0411 名古屋052(753)7872 倉敷086(423)2321 長崎095(844)8406

ISO 14001

①防じん・防毒マスク用フィルターの設計、開発及び製造
②空気浄化装置の製造
③全自動内視鏡洗浄消毒装置の設計、開発、製造及び修理サービス
狭山テクノパークにて
環境マネジメントシステム審査登録

送気マスク、空気呼吸器、電動ファン付き呼吸用保護具、防炎面、防音保護具及び防じん・防毒マスク用しめりも等の設計・開発・製造並びに空気呼吸器の補修サービス
新所テクノパークにて
環境マネジメントシステム審査登録

JIS Q 14001
ISO 14001
JSAE 1079

防じんマスク、防毒マスク及びフッシュブル型換気装置の開発設計、製造
群馬テクノパークにて
環境マネジメントシステム審査登録

JIS Q 14001
ISO 14001
JSAE 465

防じんマスク及び吐気を利用した液体・気体の浄化等の汚染防止機器の設計・開発・製造
群馬テクノパークにて
環境マネジメントシステム審査登録

JIS Q 14001
ISO 14001
JSAE 677



ISO 9001

防じんマスク、防毒マスク、送気マスク及び電動ファン付き呼吸用保護具の設計及び製造
品質マネジメントシステム審査登録

JIS Q 9001
ISO 9001
JSAQ 405



代理店

●製品の仕様及びデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

0362KK3・21.04 (104)